

兵庫県三田市フラワータウン（まちびらきから40年を迎えるオールドニュータウン）。ニュータウンは空き家が増える時期も同じである。移住希望者に対しスムーズに流通（バトンタッチ）でき、次の世帯へ選ばれるまちとなるよう官民金学連携でまちのリブランディング、サービスの構築を図った。2年間の事業により今後持続継続できるまちへと展開する。

■ 事業概要

事業部門	部門2)住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	兵庫県三田市フラワータウン地域
背景・課題	フラワータウンは、まちびらきから40年が経過し、現在、社会環境の変化とともに人口の減少、少子・高齢化の進行、住宅や施設の老朽化など、様々な問題が顕在化しつつあります。これらの問題は、全国的にニュータウンを抱えている自治体にも共通することであり、一定期間に大量の人口流入がなされたニュータウンでは予測通りに表面化してくる。 将来にわたり、フラワータウンが多様な世代が快適に住み続けることができるまちづくりを図るため効果的な対策を今から講じておく必要がある。
目的	オールドニュータウンを抱える自治体（三田市）において『空き家及び移住に関する問題・サービス』を一元に対応できる相談窓口を整備し、持続可能なまちづくりを構築する。今後、「増加する空き家」と「人」が官民金学連携により、選ばれるまちづくりを構築することで持続可能なモデルを展開する。 ・子育て・女性の豊かな暮らしをつくる ・選ばれるまちづくり ・中古住宅流通
連携する団体・役割	三田市/金融機関（兵庫県信用組合）/関西学院大学清水ゼミ



■ 取組内容と成果

- ①「空き家流通会議の開催」
- ②「空き家対策促進事業」
- ③「ファイナンス×ライフプラン作成・提案事業」
- ④「空き家バンク事業」
- ⑤「モデルハウス事業」

